

調査・研修等計画届出書

令和 元年 10月 18日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三木 雪実 

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 元年10月30日から10月31日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会議長会 研究フォーラム in 高知	
会場名（会場所在地）	高知県高知市布師田 3992-2 高知ちばんさんセンター	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	高知県高知市において「議会活性化のための船中八策」と題した研究フォーラムが開催される。議会活動の実際と今後の議会のあるべき姿について討論を行う。 議会改革を鋭意推し進める瀬戸市議会にあつて、策定した議会基本条例の随時見直しや新たな取り組みについては、他市事例を参考にすることも欠かせないポイントとなる。研修を活用したい。	
議長名の依頼	要・ <input type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	山田治義・冨田宗一・小沢勝・西本潤・長江公夫・三木雪実 戸田由久・宮菌伸仁・柴田利勝・高島淳・朝井賢次・11名	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和2年4月30日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三木 雪実



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和元年10月29日から10月31日まで（2泊3日）
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知
会場名（会場所在地）	高知県高知市 高知ちばさんセンター
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	<p>昨今、全国の市町村議会で進められる「議会改革」であるが、一朝一夕に改革が成し遂げられるものではなく、日々試行錯誤が繰り返される中で少しずつ前進するものである。</p> <p>ここでは、各市の改革事例や進捗状況を検証しつつ、真に活力があり、ハイクオリティな議会を実現するための具体策を探求することを目的とする。</p>
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
<p>平成12年、地方分権一括法が制定され、自治体の裁量に任される仕事が増えたのに伴い、議会が果たすべき役割もかつてに比べ、格段に増幅している。</p> <p>こうした中、それまでのような議会の在り方、議員の意識のままでは当然のごとく市民ニーズに対応できず、本来の役割を果たせないこととなる。そこで、一括法制定以来20年、議会基本条例の制定をはじめ、市民との距離を縮めるべくさまざまな取り組みが行われてきた。</p> <p>しかし、「こうせねばならない」「この方法で間違いない」といったいわゆる『正解』がない取り組みであるがゆえに、検証・実証に時間がかかったり、二の足を踏んだり、未だ全国的な改革は十分でないと考えられる。</p> <p>フォーラムでは個別の事例が示され、それらについて現段階で、あるいはその議会において最善の策と考えられる解決策について話合われた。</p>	

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

市議会議員のいわゆる「なり手」が、全国的に減少傾向にあり、議会改革そのものの以前の問題として取り上げられた。新潟県上越市では議員候補を増やすために環境整備検討委員会を設置し、議員を目指しやすい環境をつくるよう腐心しているという。

同市では、「市議を目指すことを阻害する何か」があるとすれば、それを排除していけばよいのではないかと、どの方針で検討を重ね、市民とも『なぜ若者や女性は市議を目指せないのか』『どのような阻害要因を無くせば議員に出馬するのか』などをテーマに意見交換を行ってきた。

そうした中で早急に取り組むべき7つのポイントを抽出したという。①議会傍聴の改革②模擬議会、議会体験学習の実施③意見交換会の改革④広報 PR の充実⑤選挙マニュアルの作成⑥議員報酬の適正化⑦女性フォーラムの開催 である。

瀬戸市議会ではすでに取り組んでいる項目もあるが、将来的ななり手不足といった事態を防止する意味からも傾聴に値する報告であった。

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

2日間の会議を通して、議会改革に対する取り組み、成果が話し合われたが、相対的に瀬戸市議会は先進的であるとの感想を持った（マニフェスト研究会による改革ランキングでは平成元年全国36位）。

しかしながら、未実施の改革施策であったり、個別の取り組みに対する工夫の仕方などは今後さらに追求すべきと考える。

開かれた議会、分かりやすい議会を限りなく目指す取り組みは、立候補者の減少のみならず、若者や女性の進出などにも資するはずである。